

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス ハグ		公表日 令和8 年 4 月 1 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		人数や活動プログラムによって部屋を割り当て、適切に過ごす事が出来るよう工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	11			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1	危険のないよう、目視確認を行い。危険な個所が見つければ、その都度対処しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1	掃除場所や消毒等チェック表を作成し、確認出来るようにしています。	活動していく中で多少、マットのズレが生じていたり細かいゴミがそのままになっている事があるので一人ひとりの意識を高めていく必要がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11		活動内容に応じて、時間を決めて使用出来るようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11		定期的に戻っています。	振り返り方も毎回同じなので、マンネリ化しないようにすることが課題としています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		会議で取り上げ、振り返りながら、より良い支援に繋げる事が出来るよう努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	時期を見ながら1人1人、行っています。	声を出しやすい雰囲気づくりを徹底しております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		11		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	1	定期的に法人内で研修を行い、職員ひとり一人に必要な研修があれば参加しています。	研修等の情報の取り入れ方を課題としています。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		ホームページに記載しており、事業所内にも提示し、いつでも見る事が出来るようにしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1	定期的に行い、支援員の意見を聞きながら、分析を行い、放課後等デイサービス計画を作成しております。	個々の捉え方が違うので、話し合いの場をもう少し増やす必要がある。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1	支援の内容が個々によって違わないように定期的に共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11			もっと意見を取り入れる事が出来るよう、お互いに話しやすい環境作りを課題にしています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	専門的支援員を中心に立案しております。	支援員の知識や経験を踏まえながら活かす事が出来るよう努めています。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1	活動プログラムの内容を振り返りながら、情報収集し提案しやすい環境を作っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11		専門的実施支援を取り入れながら組み合わせ支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1		打ち合わせをしない日の方が多いので、積極的に行う事が課題としています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	1	支援終了後は必ず、どんなことでも情報共有を徹底しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	1		日々の支援の検証が出来ていない事が多いので、取り入れていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	1	子どもの特性を把握し自己選択出来る支援をしています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1	会議が必要な場合は声をかけ、充実した支援に繋がる事が出来るよう連携しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	1	保護者に確認をし、学校の担任と連携も適切に行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	1	必要に応じて、連携をとることが出来るよう体制を整えています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域他のこどもと活動する機会があるか。	8	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		送迎した時や共通ラインにて、様子を伝え情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		契約する時に説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		保護者様や子どもの意見希望を踏まえて作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		その都度、必要に応じて設ける事が出来るよう、関係機関との連携も保っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	5		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		報連相を徹底し、解決出来るまでの対応の体制を整えています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	1	会報誌を作成し、読んで楽しんでもらう事が出来るよう工夫をしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		面談や送迎時、電話と細めに情報伝達に努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11		地域で行っているスポーツ大会等、積極的に参加し交流を図っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11		いつでも確認出来る場所に保管しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		地域の消防署へ見学に行ったり、避難訓練の際のアドバイスを頂いております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11		見学の時や、契約と何度も確認し緊急連絡先など情報共有する事を徹底しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		見学の時や、契約と何ども確認し緊急連絡先など情報共有する事を徹底しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11		すぐに連絡が取れる番号、避難先等の周知を徹底しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11			出来ていない時が多々、あるので職員の意識を高めていく事を課題としています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		法人内で定期的に行っています。行った際は、その都度会報誌でお知らせしております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11		対象となる児童に、いつでも対応が出来るように整えています。		